

## 私の夢・山重の夢作文コンテスト



### 志布志市長賞

「おおきくなったら」

一年 えんぷく いろは  
ぼくは、おおきくなったらけいさつかんになりたいです。てれびのとおばこうばんをみて、かっこいいなとおもったからです。

ぼくが、けいさつかんになったら、やましげのちゅうざいしょにすんで、ちいきのひととなかよくなります。そして、みんなにわるいことをするひとをつかまえて、みんなによろこんでもらいたいです。ぜったいにとりにながしません。



### 志布志市議会議長賞

「ぼくのゆめ」

二年 立山 孔子(こうし)  
ぼくは、しょうらいうちゅうひこうしになってうちゅうから山しげ小学校を見てみたいと思います。うちゅうから見たちきゅうはきつときれいだと思います。そして、月でバーベキューをしてみたいです。バーベキューは一人じゃさみしいから友だちやかぞくといっしょにいけるといいです。山しげでとれたやさいや肉で、うちゅうでは、どんなあじがするののかたのしみです。このゆめをじつげんするために、これからもしっかりべんきょうして、山しげでとれたやさいや肉をたくさんたべて大きくなりたいです。

そして、ぼくがうちゅうから山しげ小を見たときに、たくさん子どもたちに手をふりたいです。そのために、山しげ小学校が、いつまでも、今みたいに子どもたちがたくさんいるといいなと思います。



### 志布志市教育長賞

「未来の山重小に向けて」

五年 立山 璃桜(りお)  
明治七年二月五日山重簡易小学校として、そう立されたのが今の山重小学校です。令和六年二月五日に百五十周年を迎えます。

私の家庭はひいおじいちゃん、おじいちゃん、お父さんも山重小に通ってました。だから私も山重小に行くことにしました。

山重小の全校児童は少ないけど、その分みんな仲良く、助け合い、協力もし合えるすばらしい学校です。山重小のもう一つの自まんは、正門前の花だんです。自分たちで、一つ一つていねいに植えていき、そうじ時間には雑草をぬき、いい気持

ちになるように花だんを作っています。正門前は、いろんな人が通るので、これからもきれいな花だんにしたいです。

山重小学校の伝とうのバトンがこれから先、ずっとつながっていくことを心から願います。

そして今もつながっている山重小の伝とうを私たちの努力ときづなでつないでいきたいです。



### 山重小学校長賞

「私のゆめ」

四年 山下 芽依(めい)

私のしょうらいのゆめは、パティシエになることです。パティシエになりたい理由は二つあります。

一つ目は、みんなに笑顔をとどけたいからです。アレルギーを持っている人は食べられる物が限られてしまいます。なので、私はアレルギーを持っている人でも食べられるケーキを作って一人でも多くの人に笑顔をとどけたいです。

二つ目は、不公平のない世界にしたいと思います。まずしい家庭だからという理由で物が買えない人もいます。SDGsに取り組んで少しでも値段を下げて、誰でも買えるようにして、この世界から不公平を少しでもなくしたいです。私は、このゆめをかなえるために努力したいと思います。



### 山重校区コミュニティ協議会長賞

「わたしのゆめ」

三年 加藤 美桜(みお)

わたしのゆめは、ほいくしです。

わたしには、二さいの妹がいて、よくめんどうをみています。絵本を読んであげたり、ごはんを食べさせてあげたり、外で一しょに遊んであげたりしています。ある時、わたしが「げんこつやまのたぬきさん」を歌ったら、妹がおどりました。それを見た担任の先生が、

「みおさんは、小さい子どものお世話がとても上手だね。」

とほめてくれたことがありました。妹がうれしそうにしているのを見ると、わたしも笑顔になります。小さい子どものお世話がとくいだし、楽しいのでほいくしになりたいです。

ほいくしになるために、わたしは大学でお勉強をがんばりたいです。ほいく園にいる子どもたちに、のびのびとしたかんきょうの中で大きくなってもらえるように、わたしもがんばりたいです。

